



testo 885 / testo 890 赤外線サーモグラフィ

簡易マニュアル



概要

操作の基本コンセプト

testo 885/890 サーモグラフィは 2 つの方式による稼働が可能です。

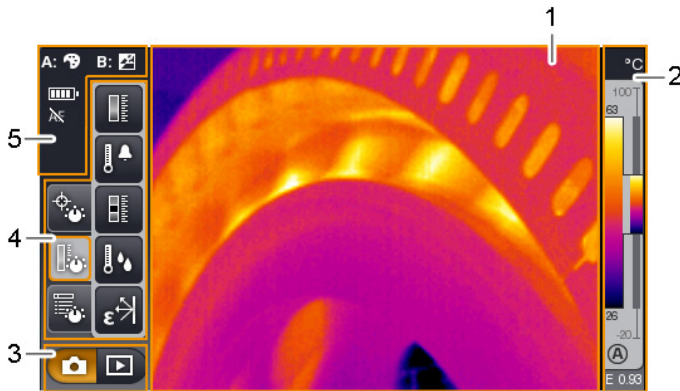
タッチスクリーン による操作では、各種機能へ迅速なアクセスが可能になります。ジョイスティック による操作では、操作ステップが増えますが、片手での操作が可能になります。

i 静電容量式タッチスクリーンです。指先で直に(手袋は不可)または伝導性スタイラス・ペンで触れることでのみ操作可能です。

本書では、起動する機能/ボタンだけで説明しています。

- タッチスクリーンによる操作: 指先でスクリーンに触れます。
- ジョイスティックによる操作: まず選択して(ジョイスティックを上/下/左/右に動かす)、確定(ジョイスティックを押す)します。

ディスプレイ・インターフェイス



- 1 画像ディスプレイ: 熱画像または可視画像の表示
- 2 スケール・ディスプレイ
- 3 モード選択バー(記録/画像ギャラリー)
- 4 メニューバー/タブ(下を参照)
- 5 ステータス・ディスプレイ

メニューバー / タブ・ウィンドウ、メニュー



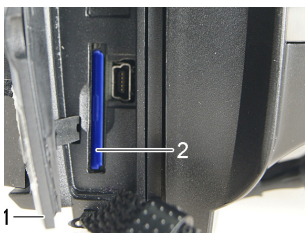
各種機能をメニュー・バーにより呼び出せます。メニュー・バーは、3 つのタブで構成されています。このタブを選択することによって異なる機能グループを呼び出すことができます。

メニューを通じて、3 つのタブから多くの機能をその付属機能を呼び出すことができます。メニューを開くには：

>  | 

初期作業

メモリーカードを挿入する



1. 下部のインターフェイス接続口 (1) を開きます。
 2. メモリーカード (SD または SDHC カード) をカードスロット (2) に差し込みます。
- > メモリーカードの取り外し: ロックが外れるまで、メモリーカードを押し込みます。

充電式バッテリーの装填



1. バッテリー収納ボックスカバー (3)を開けます。
 2. バッテリー収納ボックスに、充電式バッテリー (4) をカチッと音がするまで完全に挿入してください。
- サーマログラフィが自動的に起動します。
3. バッテリー収納ボックスのカバーを閉じます。

基本設定をおこなう

- > まず、液晶ディスプレイに貼られている保護フィルムをはがしてください。
- サーマログラフィが起動すると、ディスプレイ上にスタート画面が表示されます。
 - サーマログラフィを初めて起動したとき: ディスプレイ上に **国別設定** および **日付/時刻** の設定用ダイアログ画面が表示されますので、言語および日付/時刻、そして測定単位 (°C) の設定を行います。



✓ **国別設定** ダイアログ画面を開きます。

1. 使用する言語にタッチします。必要に応じて、
▲ / ▼ で表示言語をスクロールします。

- 選択した言語に印が付けられます。

2. °C/°F にタッチして、測定単位を変更します。

- 選択した測定単位がディスプレイの右上部に表示されます。

3. OK にタッチして、入力を確定します。

- **日時設定** ダイアログ画面が開きます。

4. 最上部のボタン ≡ にタッチして、**時刻** 入力画面を開きます。

5. ▲ / ▼ を使用して、**時間** と **分** を入力します。

6. OK にタッチして、入力を確定します。

7. 最下部のボタン ≡ にタッチして、**日付** 入力画面を開きます。

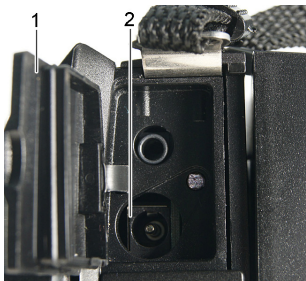
8. ▲ / ▼ を使用して、**年**、**月** と **日** を入力します。

9. OK にタッチして、入力を確定します。

10. OK にタッチして、入力画面を閉じます。

充電式バッテリーの初期充電

サーモグラフィに同梱されている充電式バッテリーは半充電の状態です。使用前に完全に充電してください。



> AC アダプタをサーモグラフィと壁コンセントに接続します。

1. インタフェース端子ボックスのカバー(1)を開けます。
 2. AC アダプタの接続プラグをsocket (2)に接続します。
 3. AC アダプタの他方のプラグを壁コンセントに接続します。
- サーモグラフィが自動的に起動します。

i

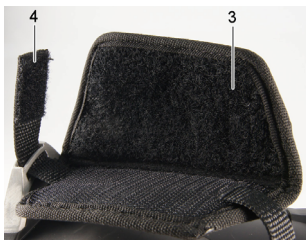
サーモグラフィの電源がオン/オフどちらのときも、バッテリーの充電が行われます。充電時間に差はありません。

> サーモグラフィの電源をオフにするときは、 を押します。

- 充電式バッテリーへの充電が始まります。(LED が点滅します。)
4. バッテリーの充電が終了したら(LED 点灯)、サーモグラフィから AC アダプタを取り外してください。

基本の操作

ハンド・ストラップの調整/レンズカバーの取り付け



> サーモグラフィの左面を上にして置きます。

1. ハンド・ストラップ・パッドを開きます。(3)
2. ベルクロ・テープ (マジック・テープ) のストラップをはがします。(4)
3. 右手をハンド・ストラップに通します。
4. ストラップの長さを調節して、テープを留めます。
5. ハンドストラップ・パッドを留めます。



> レンズ・カバー裏面にあるクリップ(5)をハンド・ストラップ上の留め輪(6)に通します。

ディスプレイ/ハンドルの回転

警告

ディスプレイが壊れる恐れがあります!

- > 引き出した状態のディスプレイ部を掴まないでください。
- > ディスプレイは限界以上に無理に折り曲げたり回転させたりしないでください。

ディスプレイの回転

- > ディスプレイは最大 90° 折り曲げ、180° 回転可能です(-180° /+90°)

ハンドルの回転



1. 右手をハンドストラップに通します。
2. 左手でサーモグラフィをしっかりと掴みます。そのためには、サーモグラフィ前部の本体ケース部分を掴みます。(1)
3. 右手を回して必要な位置にハンドルを動かします。(2) 中指と薬指で押し込みます。反対方向への回転は、手の付け根で押し上げます。

電源オン/オフ



- >  キーを押します。(3).
- ディスプレイにスタート画面が表示されます。サーモグラフィのシリアル番号、型式、ファームウェア・バージョンなどが表示されます。
- スタートアップが終了すると、測定画面が開きます。安定化フェーズが終了(ディスプレイ右上部の調整中の記号が回転停止)すると、測定値とスケールリングがディスプレイに表示されます。

約 60 秒毎にサーモグラフィの内部調整が自動で行われます。このときカチッというクリック音が聞こえ、一時的に熱画像がフリーズします。

- > 電源の切断:  (3) キーを押します。ディスプレイが消え、サーモグラフィの電源が切れます。

フォーカス・リングでピントを合わせる(マニュアル・フォーカス)

警告

オート・フォーカス機構が損傷する恐れがあります！

> **フォーカス・リング**を回す前に、必ずオート・フォーカスを停止 () してください。



- > オート・フォーカスを停止します:  | **AF**.
-  が左上に表示されます。
- > レンズの **フォーカス・リング** (1)を回してピントを合わせます。

オート・フォーカスでピントを合わせる



- > オート・フォーカスを起動します:  | **AF**.
- **AF** が左上に表示されます。
- > **[シャッター ボタン]**を押します。(2).
- 焦点合わせが自動的に行われます。焦点合わせは、シャッター・ボタンに触れると表示されるオレンジ色のボックス内に対して行われます。

画像の記録(フリーズ/保存)



1. **[シャッター・ボタン]**を押します。(2).
 - 画像がフリーズします。(画像の動きが止まります)
- > 画像の保存時、 で保存先を選択します。
2. 画像の保存: **[シャッター ボタン]**を再度押すか、 に触れます。
 - 熱画像が保存され、可視画像が熱画像に自動的に添付されます。
- > 画像保存しない時: **[Esc]** ボタンを押します。(3)



株式会社 テストー

■ 本社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル7F

- セールス TEL. 045-476-2288 FAX. 045-476-2277
- サービスセンター（修理・校正） TEL. 045-476-2266 FAX. 045-476-2277

■ 大阪営業所

〒530-0055 大阪市北区野崎町7-8 梅田パークビル9F

TEL. 06-6314-3180 FAX. 06-6314-3187

ホームページ <http://www.testo.jp> e-mail info@testo.co.jp